１学年 進路講演会を実施しました。

令和８年１０月８日（木）、本校第１体育館にて１学年生徒ならびに保護者を対象とした進路講演会を実施いたしました。入学から半年が経過したこの時期に、学習の意義や将来の進路とのつながりを再確認し、生徒一人一人が主体的・自立的に学習に向かう意識を高めることを目的として開催されたものです。

当日は、株式会社ベネッセコーポレーション東北支社の荻野将臣氏を講師にお迎えし、「学習の定着と振り返りの質向上に向けて」と題してご講演いただきました。





講演では、近年の大学入試動向や高校１年秋における学習習慣維持の重要性に加え、模擬試験と定期考査の目的の違いについて分かりやすく解説していただきました。特に目標と現状の差を把握することや、効率的な振り返りを行う大切さについて、具体的なアドバイスを頂戴しました。

生徒たちは真剣な表情で耳を傾け、今後の学習計画や自身の取り組みを見直す貴重な機会となりました。



参加した生徒の感想の一部を紹介します。

「大学選びに関しては『憧れ』をもって選んでも良いということを聞いて、少し自信がついたように感じます。」

「全国の中での自分の立ち位置や弱み・強みを確認し、受験勉強に生かせられるように、復習を徹底していきたいと思います。」

「学習時間を伸ばしていきたいと思った。高校１年のうちに学習時間が確保できている場合と、できていない場合で、今後の生活にも影響が出る。また、伸びしろがある単元に集中して取り組み、自分の点数を上げていきたいです。」

「国立大やブロック大学の志願者数が下がっており、倍率が 1.0 のような大学も増えていることを知り、もともと視野に入れていなかった大学も視野に入れてみることが大切であると知ることができた。」
「一年生のうちから学習習慣を身につけ、自分の進路についてしっかり考えることが大切だと分かった。 自分の目指す将来に向けて予習・復習、授業のサイクルを意識して、苦手をなくすための学習習慣を身に着けていきたい。」
「今はチャンスで、『粘るが勝ち』とわかった。勉強に対する意識をもっと上げたい。志望校の合格に必要な力と今の自分の力のギャップを埋めるのが受験勉強とわかった。もっと進路や学習の意識を上げたい！」

本校では引き続き、生徒一人一人の進路実現に向けた支援に努めてまいります。ご講演いただいた荻野様、誠にありがとうございました。